

能披露

旧高取邸 開館十周年記念
土蔵ギャラリー展



杉戸絵：フォトグラファー 樋口宗久

かくして能はおこなわれた。

一二年前の出来事。

2017 12/19 火 → 2018 2/18 日

会場／旧高取邸 土蔵ギャラリー

時間／9:30～17:00

休館日／月曜日・12/29～1/1 (*月曜が祝日の場合は開館し翌日休館)

入場料／一般：510円／小・中学生：250円 ※団体：20名以上2割引
(*旧高取邸の入場料で観覧)

主催／公益財団法人 唐津市文化事業団

共催／唐津市教育委員会

後援／唐津市・FMからつ86.8MHz

〈お問い合わせ〉

唐津市旧高取邸 | 佐賀県唐津市北城内5-40 TEL.0955-75-0289

能披露

旧高取邸開館十周年記念
土蔵ギャラリー展

炭鉱主として唐津の近代化に多大なる業績を残した高取伊好の邸宅には、明治38年(1905)に能舞台を設えた大広間棟が完成しました。その能舞台の完成を祝い同年8月26日から28日の3日間をかけて能楽が披露されるということが、当時の新聞記事として残っています。

この展示会では、自宅に能舞台が設けられた目的を時代背景とともに考えてみます。また、能舞台としての仕様、舞台開きとして演じられた演目や演者達について新聞記事をもとに紹介します。



「扇」(個人蔵)



観世流謡本(個人蔵)



～第一部～ プロローグ 高取伊好と能

高取伊好と能との出会いを、出身地である多久(佐賀県多久市)に残る史料から探ってみます。

～第二部～ 明治38年能舞台完成披露の能

能舞台の完成を祝い能披露が行われることが、当時の新聞に載せてあります。そこに書かれている演目を紹介します。

～第三部～ 高取邸の能舞台で舞った人々

明治38年の能披露に出演していたとされる能楽師は主に関西を拠点とする流派でした。その時の能楽師と、後にどのような活躍をしたのかを紹介します。

～第四部～ 旧高取邸の能舞台

能披露をするための様々な工夫を随所にみることができます。日常との違いや床下の様子などを見てみましょう。



能楽師・杉戸
フォトographer 樋口宗久

杉戸「藤」



杉戸「福の神」